

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ととでのキッズ (放課後等デイサービス単位1・単位2 多機能型事業所(放課後等デイサービス))		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ~ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 27名(単位1) 31名(単位2) 21名(多機能)	(回答者数) 24名(単位1) 20名(単位2) 17名(多機能)	
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日 ~ 2025年 2月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6(単位1) 6名(単位2) 7名(多機能)	(回答者数) 6(単位1) 6名(単位2) 7名(多機能)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス3単位をお子様のライフステージに応じて選べるようにしている。 多機能型(放デイ)知的障害・医療ケア児・肢体不自由児 放デイ単位1:小学1年~3年生の発達障害児 放デイ単位2:小学4年~高校3年の発達障害児	5領域に沿った活動内容に努めている。また在籍されている学年やお子様ひとりひとりにあわせた支援の提供を行っている。 ・多機能型(身辺自立・自立活動) ・放デイ単位1:(ソーシャルスキルトレーニング・社会的スキル・体の使い方など) ・放デイ単位2:(グループワーク・プレゼンテーション・他者理解を深めるプログラム等)を実施	就労を意識したお仕事体験も計画していきます。
2	保護者の就労を支える延長支援を行っている。 ご家族の状況や就労時間等の相談を受け個別支援計画に記載し人員配置を整えている。	家族のニーズに応じたサービスの提供ができるよう、相談支援員と連携を取りながら療育を行っている。	・コミュニケーション研修の実施 ・保護者支援の充実
3	・医療的ケア児や服薬管理が必要なお子様も集団経験ができる環境が整っている。 ・医療連携体を法人内すがはら病院・訪問看護ステーションと結び看護体制を整えている。 ・緊急時は、協力医療機関(すがはら病院)の医師がかけつけ対応してもらえる。 ・それぞれの事業所に理学療法士等専門職を配置しており個別療育(専門的支援実施)を行っている。	・医療的ケア児の受入れ時には、医師、看護師、児発管・保育士等で会議を設けることでお子様の情報共有や緊急時に備えた対応を取っている。 ・かかりつけ医より診療情報提供書をいただき連携を図っている。 ・児発管・理学療法士等の職員・看護師・保育士・社会福祉士と多職種で話し合い連携している。	・看護師の体制を整える。 ・喀痰吸引の研修の検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【保護者支援:保護者会や勉強会について】 今年度は年3回の保護者勉強会(緊急時対応・食育学習(味噌玉作り・おやつを試食会)アート体験)を実施し、またきょうだい児も含むお楽しみ会はご家族で楽しめる会も行いました。 次年度も保護者のニーズにあわせた保護者支援を計画に反映させていきたい。	・出席状況が芳しくなかった。 ・就労している保護者も多い為、保護者が参加しやすい日程やどのような内容が望まれているのか知りたい。 ・ととでのキッズ全体としての実施だったため、各事業所の個性にあった保護者支援になっていなかった可能性がある。	ニーズ調査を行うことで保護者の要望等の収集に努め(2月に実施済)次年度に反映した保護者支援が実施できるようにする。 ・各事業所に求められている保護者のニーズにあった保護者会・開催を年間計画として周知する。

2	<p>【地域支援：交流について】</p> <p>コロナウイルス感染症が5類に変更となったことで少しずつ地域に出ていく活動も増やしてきた。保護者評価で地域交流の質問に対して分からないと答えた数が多かったため、周知の方法等を見直したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への地域支援への意識と周知を行う。 ・地域交流としてもっと保護者へ発信をして必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流を意識した活動内容の設定 ・サービス毎の提供記録での発信強化 ・てとてのキッズだよりに掲載し周知を図る。
3	<p>【専門的支援について】</p> <p>理学療法士等の職員をそれぞれの単位に配置し、専門的支援（個別療育）に力をいれているが、下校時間等により、個別的な支援の時間の確保が難しい日もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の下校時間の把握と職員間の情報共有が必須 	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管、理学療法士等職員とスケジュール管理を共同することで職員間の共有に努めます。また、支援前の共有時には、本日の専門的支援実施の予定児と実施時間の確認を全職員で行うとともに、利用児も分かりやすい視覚提示に努める。